

七大学若手会第1回花見大会が開催されました。

2015年4月4日(土)、七大学若手会(会長 許志国 京大経済学研究科 2006年修了)が江東区にある猿江恩賜公園にて第1回花見大会を開催し、満45歳以下の若手卒業(修了)生49名(男性28名、女性21名)が参加しました。また、一般社団法人学士会の村松健一事務課長がご参加され、花見大会の開催を喜ばれました。今回の花見大会は、七大学若手会が2014年7月7日に設立後初の開催であり、短い準備期間に、5回も幹事団会議を開き、万端な体制で迎えた。10名を超える幹事で構成される幹事団の皆様の努力、参加者の皆様の協力で、大成功を収めました。

午前の場所取り中では、降水確率40%と言われながら、朝8時より時折大粒の雨が降り、開催が危ぶまれる事態となった。しかし幹事団と参加者の想いが届き、10時に雨はあがって、途中太陽が顔を覗かせるほどの奇跡的な天気となり、無事開催となりました。飛び入り参加が数名出るほど盛況でした。

昼になり、花見担当役員酒井裕人理事(東大工学系研究科・2009年修了)から幹事団メンバーの紹介が行われ、続いて許志国 会長の七大学若手会の設立趣旨等の紹介がありました。

今回は、キャッチコピー「春満開！桜と共に話題に花を咲かせよう」に基づき、話題が生まれやすくなるよう幹事団が工夫をしました。5つのグループに分かれてグループ内でペアを組んで自己紹介、グループ内で他己紹介を行いました。その後、各グループ内で他己紹介が上手かった人を1人ずつ指名させ景品として美術館のペアチケットを担当役員の酒井 裕人より授与しました。

花見大会の最後に、今後の若手会の告知があり、4月19日の七大学若手昼食会、6月20日の七大学若手会総会を案内し、二次会に移動しました。朝から一日話したにもかかわらず、二次会にも多くが参加、本格派インド料理を食べながら話題に花が咲き、大盛況のうちに終了しました。



<p>花見主担当役員酒井裕人理事</p>	<p>花見副担当役員吉野雅彦理事</p>
	
<p>話題と共に笑顔に花を咲かせた</p>	<p>猿江恩賜公園のシンボルである時計台と 活発に交流する参加者たち</p>
	
<p>他己紹介優秀者景品獲得者</p>	<p>集合写真</p>

七大学若手会ホームページ：<http://gakushikai.web.fc2.com/>